

杉原千畝と幸子氏から広がる人道の輪
～高松の高校生と名古屋の高校生の交流会～ まとめ

2023年12月26日（火） 香川高県立松高校の生徒が本校を訪問し、人権をテーマに本校生徒と意見交換会を行った。高松高校は杉原千畝の妻の杉原（菊池）幸子の出身校（旧制高松女子高→現高松高校）で、生徒が来校するのは昨年について二回目である。

今年は、参加校の枠を広げ高松側は高松高校生12名と高松工芸高校生1名（計13名）、名古屋側は瑞陵生13名、天白高校生5名、名古屋南高校生3名の21名が参加した。

校門横の杉原千畝広場（センポ・スギハラ・メモリアル）で瑞陵生がパネルの説明をした後、本校感喜堂に移り5つのグループに分かれて「杉原千畝の勇気」について意見交換をした。

千畝の立場からだけでなく、幸子さんの立場からの意見もあり、理解を深めることができた。この中で「迷えるならできるはず」という名言も現れ、今回のまよめの言葉となった。

27日（水）の午後はグループごとで名古屋市内の見学に出かけ親睦を深めた。事後アンケートでは、継続すべき行事、生徒主体で行いたい、繋がりを広げたいとの積極的な意見が多くみられた。

